

# いのち・暮らし、中小企業応援の熊本市政を！

日本共産党市議団と市民の運動で前進

・・・ 上野 みえこ議員の一般質問 ・・・

## 国民健康保険 減免制度を拡充へ！

12月議会の一般質問で上野みえ子議員は、負担の限界を超えた保険料の負担軽減を求めました。幸山市長は、「所得の低い方が多く加入されているので、保険料の負担感が高い

と認識している」、また現行世帯員3名以上・年間所得100万円以下世帯の保険料を1割軽減の「減免を拡充することとし、内容を精査している」と答弁しました。

## 短期保険証は、3ヶ月証をやめて、「6ヶ月証」に統一

資格証明書と短期保険証の機械的発行の中止を求めました。市長は、「きめ細かな納付相談を行い、未更新世帯の解消に努める。短期保険証

は6ヶ月証に統一することも含め、見直しを検討」と答弁。「3ヶ月証が、6ヶ月証になりうれしい」と、早速喜びの声も届いています。

「熊本市の国保をよくする会」と党市議団の取り組みの中で、  
資格証明書・短期保険証の発行が減少

熊本市も、今年度未更新者実態調査を実施、保険証交付がすすみました。

【未更新世帯】昨年度・8546件 → 今年度・1999世帯

## 市民に背を向け、来年4月には保険料値上げ！

しかし幸山市長は、来年4月の6%・一人平均9,900円の保険料引き上げは強行する姿勢です。

「国保をよくする会」の保険料引き下げ署名は、4万人を超えています。保険料引き上げは中止すべきです。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

熊本市手取本町1-1 議会棟 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

NO. 736

2010年12月12日

電話 328-2656

FAX 359-5047

## 子ども医療費無料化 通院も小学3年生まで拡充

子ども医療費無料化は、年々拡充され、北海道・むかわ町や蘭越町、奈良県山添村などでは、高校3年生まで無料です。近隣では、合併しなかった益城町が今年4月から中学3年生まで拡充、熊本市も中学3年生まで拡充するよう要望しました。

市長は、通院まで含めた小学3年生までの拡充を表明しました。

【中学3年生まで無料】阿蘇市・美里町・玉東町・和水町・産山村・水上村・甲佐町・芦北町・南阿蘇村・五木村・益城町・苓北町

【小学6年生まで無料】菊池市・合志市・大津町・菊陽町・嘉島町・氷川町・多良木町・相良村・あさぎり町・山江村・錦町

\* なお、菊陽町・嘉島町は、来年度より中学3年生まで拡大の予定です。

## 第3子以降の保育料無料に！

日本共産党市議団が繰り返し求めてきた第3子以降の保育料無料化が実現の見通しとなりました。市長は、「3歳未満児を対象にした、第3子の保育料を無料化、できるだけ早く実施に努める」と答弁しました。

## 「育児休業中の上の子の保育」も拡充

### 現行4・5歳児を、順次3歳以下も対象に

現在、4・5歳児を対象に受け入れている育児休業中の上の子保育についても、幸山市長は「3歳児から順次拡大していきたい。できる限り早く実施に努める」と答弁しました。

## 認可外保育への助成拡充の方向へ

### 「保護者への直接助成」を導入

「認可外保育園保護者の施設利用料の一部を補助することを考えている」と答弁がありました。



# 効果絶大「住宅リフォーム助成」の創設

9月議会に続き、今議会でも上野美恵子議員が「住宅リフォーム助成制度」実施を強く求めました。市長は、緊急経済対策に取り組んでいるといますが、各種の緊急経済対策と比べ、効果は絶大です。

本市が実施している小規模修繕登録制度と同程度の5,000万円で住宅リフォーム助成制度を実施すれば、5億・10億の効果額が見込まれます。

## 【全国で注目の岩手県宮古市の制度】

20万円以上の工事に、幅広く一律10万円の現金を補助。申請手続きが簡単、使い勝手のよさが評判。当初500件・5,000万円の予算でスタート、申請が殺到、3回も予算を増額、合計3,500件、3億5,000万円に。

兵庫県明石市では、経済効果を検証

住宅リフォームの効果ははっきり

(2009年度実施の経済波及効果)

定額給付金事業 0.47倍

小中学校の耐震化他 1.45倍

プレミアム付商品券 4.8倍

住宅リフォーム助成 10.9倍

## 【小規模修繕登録制度】

昨年度年間1,181件・約5,000万円の補助実績です。本市の施設修繕費は総額約3億円なので、発注拡大と、対象事業費を50万円に広げること(現行30万円)を要望しました。



## 住民の意見を聞いて、 区バス・コミュニティバスの運行を！

上野議員は、政令市移行に向けての「区バス」は、住民の利便性重視からも、地域住民の意見を聞いて検討することを要望しました。市長は「地域住民の意見を聞くこと不可欠、早ければ年度内にも住民意見の聴取を始めたい」と答えました。反対意見の中で5区案が強行され、区役所が遠くなっているため、低料金(1コイン・100円)での運行も要望しました。

合併町では、幹線を除き、バスの便がない地域もあります。さくらカードが「絵に書いた餅」にならないよう、地域住民の利便向上のためにも、市の「地域公共交通総合連携計画」に基づくコミュニティバス運行を求めました。

## 城南町合併特例区協議会委員「前田勝氏の解任」を幸山市長に申し入れ

日本共産党市議団は、12月3日、幸山市長に対して、城南町特例区協議会委員である前田勝氏の「協議会委員の解任」を求める申し入れをしました。

特例区規約8条では、「市長は、職務に必要な適格性を欠くと認めた場合、解任することができる」と規定されており、任命権者である幸山市長が、前田勝氏を解任することを求めました。

## 幸山市長は「謹慎届け」の受理でなく、前田勝氏の解任を！

前田勝氏は、「9月24日に報道された件で、多大な心配と迷惑をかけた」「12月1日から翌年1月31日まで2ヶ月間謹慎し、報酬の支給について、辞退する」と、11月29日付けで、「謹慎届け」を提出しています。

今回の事件は、新聞報道でみれば、前田氏は右翼団体代表の人物や会社員とともに、共謀し、街宣車として購入した中古消防車の車庫証明について「虚偽申請し登録したことが、「電磁的公正証書原本不実記録・共用」の疑いで逮捕され、当初は、「自分に関係ない」と否認していたものの、略式起訴により、熊本簡易裁判所から罰金20万円の略式命令が出されています。

12月2日の地元紙では、前田氏本人も、「市から辞職勧告などがあれば従うつもりだったが、なかったために謹慎を申し出た」と述べており、甘い対応が、今回の「謹慎届け」となっています。

本来、右翼団体に絡む事件であり、公務に携わるものとして「謹慎」で済まされる事件ではありません。そのまま放置すれば、市政への市民の信頼をなくし、合併特例区そのものへの不信感を抱かせることとなります。

## 合併特例区の区長・協議会委員の報酬減額を！

オンブズマン植木(松岡信孝代表)から、合併特例区の区長及び協議会委員の報酬減額を求める陳情が提出されています。

3町合計では、特例区設置期間の5年間で総額6億4000万円にのぼり、財政状況の厳しい中で、異常ともいえる高額報酬であり、委員については、日額報酬とすること、区長については、非常勤とし、現在年間約1000万円の報酬の減額を求めています。